

National Archives of Hungaryとの面談会

2025年5月9日（金）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、National Archives of Hungary（以下、ハンガリー国立公文書館）の院長であるSZABÓ Csaba氏をはじめとする4名の代表団をお迎えし、面談を持ちました。

ハンガリー国立公文書館の東アジアセンターは、大戦期および冷戦期における日本や朝鮮半島に関する膨大な一次資料を所蔵しており、それらを多角的かつ人道的に活用するため、これまで日本の大学や研究機関とのネットワーク構築を進めてきました。

今回の訪問では、立命館大学東アジア平和協力研究センターが持つ広範な研究ネットワークや、主導的な研究プロジェクト運営の実績が高く評価され、研究協力の可能性について打診を受けました。

当センターは、ハンガリー国立公文書館東アジアセンターとの今後の研究交流の可能性を確認し、正式な研究協力の締結に向けて努力していくことに合意しました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2025年5月9日（金） 17:30-18:30

会場 立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム 応接室

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

後援 韓国国際交流財団（KF）

●参加者

Szabó Csaba (Director-General, Department of Central Administration)

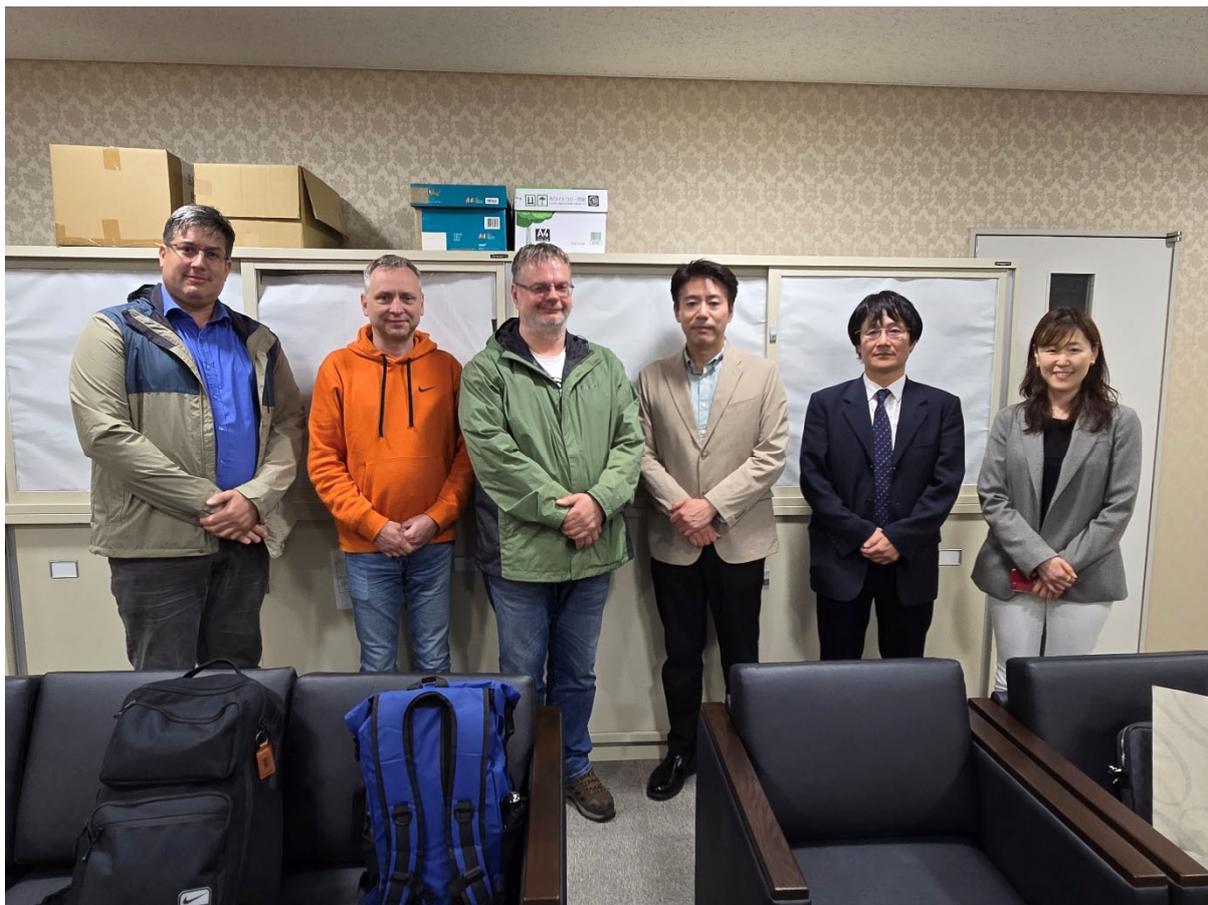
Szűcs Levente (Strategic Advisor)

Szatucsek Zoltán (Director, Directorate of International Relations)

Kim Bogook (Director, East Asian Research Centre)

中戸祐夫 （立命館大学東アジア平和協力研究センター センター長）

張瑛周 （立命館大学東アジア平和協力研究センター 客員助教）



当日の写真